

精神障害者の訪問看護におけるマンパワー等に関する調査（訪問看護ステーション 事業所票）

■平成21年2月1日時点における貴事業所の概要について、以下のご回答ください。

1 開設主体	01 都道府県・市区町村・広域連合・一部事務組合	07 社会福祉法人（社会福祉協議会を含む）		
	02 日本赤十字社・社会保険関係団体	08 農業協同組合及び連合会		
	03 医療法人	09 消費生活協同組合及び連合会		
	04 医師会	10 営利法人（株式・合名・合資・有限会社）		
	05 看護協会	11 特定非営利活動法人（NPO）		
	06 社団・財団法人（04・05以外）	12 その他の法人		
2 医療機関への併設	01 併設している ⇒ 標榜診療科（11 精神科が主 12 精神科あり 13 精神科なし）			
	02 併設していない			
3 指定自立支援医療機関（訪問看護事業者等）の指定	01 指定あり ⇒ 医療種類（11 育成医療 12 更生医療 13 精神通院医療）			
	02 指定なし			
4 精神障害者居宅介護等支援事業（ホームヘルプサービス）を実施している訪問介護事業所の併設の有無	01 併設あり（又は同一法人にある）			
	02 併設なし			
5 従事者数	常勤職員数 （実人数）	非常勤職員数 （実人数）	常勤換算数	
	① 看護職員	人	人	. 人
	（うち）PSW資格保有者	人	人	. 人
	② PT・OT・ST	人	人	. 人
	③ その他の職員	人	人	. 人

■平成20年8月1日から平成21年1月31日までの6カ月間における、精神科訪問看護（精神疾患（認知症を除く）が主傷病の利用者への訪問看護）について、以下に回答してください。

	訪問看護基本療養費（Ⅰ）、Ⅲ 又は介護保険	訪問看護基本療養費（Ⅱ） （精神障害者社会復帰施設等への訪問）	
1 精神科訪問看護の実施利用者数	人	人	
2 紹介元の施設等 ※1	① 入院していた病院の主治医	人	人
	② 入院していた診療所の主治医	人	人
	③ 通院していた病院の主治医	人	人
	④ 通院していた診療所の主治医	人	人
	⑤ 他の訪問看護ステーション	人	人
	⑥ 保健所・精神保健福祉センター等の行政担当部署	人	人
	⑦ 患者の家族・親族	人	人
	⑧ その他（ ）	人	人
3 精神科訪問看護の担当職員数	_____人（うち精神科での看護経験のある職員数_____人）		

※1. 主治医に限らず、一番最初に貴事業所に連絡をしてきた施設等を選び、該当する人数をご記入ください。

< 裏面に続きます >

■引き続き、平成20年8月1日から平成21年1月31日までの6カ月間における、精神科訪問看護（精神疾患（認知症を除く）が主傷病の利用者への訪問看護）について、以下に回答してください。

		訪問看護基本療養費（Ⅰ）、Ⅲ 又は介護保険	訪問看護基本療養費（Ⅱ） （精神障害者社会復帰施設等への訪問）
4	精神科訪問看護の延べ訪問回数	回	回 ^{※2}
	（うち）複数名訪問 ^{※3} した延べ訪問回数	回	回 ^{※2}
5 主 傷 病 名 別 人 数	① 統合失調症	人	人
	（うち）複数名訪問した利用者	人	人
	② 気分障害（うつ病、躁うつ病）	人	人
	（うち）複数名訪問した利用者	人	人
	③ 発達障害	人	人
	（うち）複数名訪問した利用者	人	人
	④ 神経症性障害（適応障害、パニック、強迫性障害）、およびパーソナリティ障害（境界例等）	人	人
	（うち）複数名訪問した利用者	人	人
⑤ 依存症	人	人	
（うち）複数名訪問した利用者	人	人	
⑥ その他（てんかん等）	人	人	
（うち）複数名訪問した利用者	人	人	
6	過去1年間に入院経験のある利用者数	人	人
	（うち）複数名訪問した利用者数	人	人

※2. 精神障害者社会復帰施設等に訪問した日に、例えば同時に5人の利用者に訪問看護を行った場合は、「5回」と数えてください。

※3. 貴事業所の職員が複数名で同時に訪問した場合は指します。

■精神科訪問看護の実施利用者数、そのうち新規に開始した利用者数、精神科訪問看護の延べ訪問回数、そのうち複数名で同時に訪問した延べ回数について、平成20年8月から平成21年1月までの各月で回答してください。

		8月	9月	10月	11月	12月	1月
1	精神科訪問看護の実施利用者数	人	人	人	人	人	人
	（うち）新規に開始した利用者数	人	人	人	人	人	人
2	精神科訪問看護の延べ訪問回数	回	回	回	回	回	回
	（うち）複数名訪問した延べ訪問回数	回	回	回	回	回	回

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、平成21年2月27日（金）までに、個票と合わせて
ご返送くださいますようお願い申し上げます。

精神障害者の訪問看護におけるマンパワー等に関する調査（訪問看護ステーション 個票）

■平成20年8月1日（金）～平成21年1月31日（土）までの6カ月間に、貴事業所から同時に複数名で訪問した、精神疾患（認知症を除く）が主傷病のケースについて回答してください。

◎1～14については、最近の訪問時の状況をご回答ください。

1 性別	01 男性	02 女性	
2 年齢	満（ ）歳		
3 診断名 (該当するもの全てに○)	01 統合失調症	03 発達障害	05 依存症
	02 気分障害	04 神経症性障害、人格障害	06 その他（ ）
4 主たる診断名 (該当するもの1つに○)	01 統合失調症	03 発達障害	05 依存症
	02 気分障害	04 神経症性障害、人格障害	06 その他（ ）
5 合併症 (該当するもの全てに○)	01 糖尿病 ⇒服薬又はインスリン注射の有無（11 あり 12 なし）		
	02 肥満 ⇒体重 _____kg 身長 _____cm		
	03 その他（ ）		
6 主たる精神疾患の発症年齢	満（ ）歳		
7 訪問看護開始時の年齢	満（ ）歳		
8 過去の精神科入院経歴	01 あり ⇒ _____回	02 なし	
9 過去1年の精神科入院経歴	01 あり ⇒ _____回	02 なし	
10 保険の種類	01 医療保険	02 介護保険	03 その他（ ）
11 自立支援医療の利用の有無	01 あり ⇒ 障害程度区分（1・2・3・4・5・6）		
	02 なし		
12 婚姻状況	01 婚姻	02 未婚	03 離別・死別
13 居住形態	01 独居	02 同居者あり（同居者の内訳： _____）	
	03 グループホーム	04 その他（ _____）	
14 現在の就労の有無	01 あり ⇒ 職種（ _____）		
	02 なし		

◎15～21（18を除く）については、平成21年1月1カ月の状況をご回答ください。

15 訪問先	01 自宅	03 作業所		
	02 グループホーム	04 その他（ _____）		
16 移動時間	① 移動時間	片道 _____分		
	② 移動手段	01 車	03 公共交通機関（電車、バスなど）	
	02 自転車	04 その他（ _____）		
17 1回の訪問滞在時間	1月中の訪問1回当たりの平均 _____分			
18 訪問回数	平成20年11月	平成20年12月	平成21年1月	
	1カ月の総訪問回数	_____回	_____回	_____回
	同時に複数名での訪問	_____回	_____回	_____回
	(うち)Ns+Ns	_____回	_____回	_____回
	(うち)Ns+その他	_____回	_____回	_____回
19 複数名訪問の際の役割分担	① Ns+Ns	Ns1の役割（ _____）		
		Ns2の役割（ _____）		
	② Ns+その他	Nsの役割（ _____）		
		その他の職種（ _____） その他の役割（ _____）		
20 訪問看護への電話相談	01 本人から ⇒ 計 _____回/月	計 _____分/月		
	02 家族から ⇒ 計 _____回/月	計 _____分/月		
	03 その他（ _____） ⇒ 計 _____回/月	計 _____分/月		
	04 なし			
21 貴事業所の訪問看護以外に利用しているサービス (該当するもの全てに○をつけて、週当たりの利用頻度をご記入ください。)	01 デイケア、デイナイトケア、ナイトケア	_____回/週		
	02 グループホームなど共同同居での援助	_____回/週		
	03 作業所など日中の活動の場	_____回/週		
	04 地域生活支援センターなど集う場所	_____回/週		
	05 就労支援	_____回/週		
	06 ホームヘルプサービス	_____回/週		
	07 貴事業所以外からの訪問看護	_____回/週		
	08 その他（ _____）	_____回/週		

■最近の複数名訪問時に、複数名による訪問が必要であった理由について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 01 暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため
- 02 病状が重篤、又は不安定で、多くのケアが必要だったため
- 03 家族の精神的負担を軽減するためのサポートが必要だったため
- 04 複数の看護師によるアセスメントが必要だったため
- 05 OT又はPTによるリハビリ、アセスメント、プログラムの見直しが必要だったため
- 06 精神保健福祉士による相談、ソーシャルワークが必要だったため
- 07 日常生活援助で多くのマンパワーが必要であったため
- 08 利用者と家族に対して、別々のスタッフが担当し援助する必要があったため
- 09 新しいスタッフとの顔つなぎのため
- 10 その他（)

◎複数名訪問した理由や患者の状況について、具体的にご記入ください。

◎複数名訪問した患者や家族への複数名訪問の効果について、具体的にご記入ください。

■「01 スタッフの安全確保（暴力等からの）」を選ばれた場合に、以下についてご回答ください。
 ・対象利用者の、最近の訪問時の行動の状況のそれぞれについて、該当するもの1つに○をおつけください。

1 身体的な暴力の可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
2 言葉による暴力の可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
3 セクハラ以外の可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
4 拒否や拒絶の可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
5 その他の問題行動	01 あり ⇒具体的に（) 02 なし				

■機能の全体的評価尺度 (Global Assessment of Functioning)

- ・最近の訪問時の対象利用者の状態を、症状の重症度と機能レベルの2つの側面から評価してください。
- ・下記の採点基準を91～100点から順に読み進めていき、症状の重症度、又は機能レベルのどちらか悪い方が当てはまる得点範囲(例: 31-40点)を決めてください。その際、精神的に健康から病気までを一つのつながったものと仮定して、心理的、社会的、職業的機能を考慮してください。身体的(または環境的)制約による機能の障害は含めないでください。
- ・次に、その10点の得点範囲内の点数を決めてください。例えば、45、68、72のように、得点範囲内で適当と思う点数をひとつ決め、一番下の回答欄に記入してください。

点 数	機能の全体的評価尺度
91～100点	広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。
81～ 90点	症状が全くないか、ほんの少しだけ(例: 試験前の軽い不安)、すべての面でよい機能で、広範囲の活動にも興味を持ち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない(例: たまに、家族と口論する)。
71～ 80点	症状があったとしても、心理的社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である(例: 家族と口論した後の集中困難)、社会的、職業的または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない(例: 学校で一時遅れをとる)。
61～ 70点	いくつかの軽い症状がある(例: 抑うつ気分と軽い不眠)、または社会的、職業的もしくは学校の機能に、いくらかの困難がある(例: 時にする休みをしたり、家の金を盗んだりする)が、全般的には機能がかかなり良好であって、有意義な対人関係もかなりある。
51～ 60点	中等度の症状(例: 感情が平板的で、会話がまわりくどい、時に、恐怖発作がある)、または社会的、職業的、または学校の機能における中等度の障害(例: 友達が少ない、仲間や仕事の同僚との葛藤)。
41～ 50点	重大な症状(例: 自殺の考え、強迫的儀式がひどい、しょっちゅう万引きする)、または社会的、職業的または学校の機能において何か重大な障害(友達がいない、仕事が続かない)。
31～ 40点	現実検討か意思伝達にいくらかの欠陥(例: 会話は時々、非論理的であいまい、または関係性がなくなる)、または仕事や学校、家族関係、判断、思考、または気分など多くの面で粗大な欠陥(例: 抑うつ的な男が友人を避け家族を無視し、仕事ができない。子供が年下の子供を殴り、家で反抗的で、学校では勉強ができない)。
21～ 30点	行動は妄想や幻覚に相当影響されている、または意思伝達や判断に粗大な欠陥がある(例: 時々、破裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている)、またはほとんどすべての面で機能することができない(例: 一日中、床にっついていて、仕事も家庭も友達もない)。
11～ 20点	自己または他者を傷つける危険がかかなりあるか(例: 死をはっきり予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的、躁病性興奮)、または時には最低限の身の清潔維持ができない(例: 大便を塗りたい)、または意思伝達に粗大な欠陥(例: ひどい破裂か無言症)。
1～ 10点	自己または他者をひどく傷つける危険が続いている(例: 何度も暴力を振るう)、または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、または死をはっきり予測した重大な自殺行為。
0点	情報不十分。

GAF得点	点
-------	---

■社会行動評価尺度 (Social Behaviour Schedule : SBS)

- ・対象利用者の、**最近の訪問時の**典型的な行動について評価してください。
- ・評価に際しては、行動の程度（重症度）と、頻度を考慮に入れますが、迷った場合は、程度より頻度に重きをおいて評価し、1～21のそれぞれの項目について、最もあてまはる番号に1ずつつ0をおつけください。

1 コミュニケーション	0	1	2	3	4
スタッフと率先して会話できるか。	自発的にできる	自発的にできるが長く続かない	ほとんどできないが、時に自発的に話す	拒否的	応答しない
2 会話内容の一貫性	0	1	2	3	4
話の内容のつじつまが合うか。精神疾患のために一貫性を失っていないか。	一貫性あり	時々つじつまが合わない (月1～2回)	しばしばつじつまが合わない (週1回)	頻繁につじつまが合わない (週1回以上)	常に一貫性がない
3 会話の奇妙さ	0	1	2	3	4
一般の多くの人が奇妙と思う内容であるか。	奇妙さはない	時々奇妙 (月1～2回)	しばしば奇妙 (週1回)	とても頻繁に奇妙な話題(毎日)	常に奇妙な話題
4 社会との適切な接触	0	1	2	3	4
バス停で、次にバスはいつ来るのか尋ねられたら、適切に対応できるか。	対応できる	時々不適切 (月1～2回)	しばしば不適切 (週1回)	ほとんどいつも不適切 (週1回以上)	対応できない
5 敵意に満ちた交流	0	1	2	3	4
言語的・身体的敵意があるか。	ほとんどなし	時々軽度の敵意がある (月1～2回以上)	しばしば敵意や脅しがある (週1回)	ほとんどの接触は敵意ある言葉による (週1回以上)	頻繁な敵意のある言葉や動作
6 関心をひく振る舞い	0	1	2	3	4
人の関心を独占しようとするか、他の人に関心を向けると、怒りっぽくなるか。	なし	時々関心をひこうとするが、周囲が他人に関心を向けるとも気にしない	時々関心をひき、周囲が他人に関心を向けると怒る	常に他人の関心を要求する	常に他人の関心を要求し、周囲が他人に関心を向けると怒る
7 自殺・自傷の企図と行動	0	1	2	3	4
(3以上は明らかに自殺を目的としていたと見られるとき)	なし	間接的にほのめかす (過去1カ月)	直接的に語る (過去1カ月)	何らかの自殺企図や自殺行為をほのめかす行動 (過去1カ月)	重大な自殺企図または自殺行為 (過去1カ月)
8 パニック、恐怖症	0	1	2	3	4
ある特定の状況下における不安や一般的な不安に、どの程度悩まされているか。	なし	時々軽度の不安がある	不安や緊張があるが、何とか生活ができる	ほとんどいつも不安があるか不安発作が頻発する	常に極度の緊張・不安がある
9 過活動性	0	1	2	3	4
目的もなく歩き回る、不必要な動きが多いなどの行動があるか。	なし	時々ある (月1～2回)	しばしばある (週1回)	頻繁にある (毎日)	長時間、定期的にある
10 独語、空笑	0	1	2	3	4
決して社交上のものではない行動が見られるか。	なし	時々ある (月1～2回)	しばしばある (月3回)	頻繁にある (週1回以上)	きわめて頻繁にある (毎日)
11 妄想の行動化	0	1	2	/	
妄想に基づいて行動を起こそうと決意するか否か。(例：数百万円持っていると思い使い込む)	なし	月1回あった	月2回以上あった		
12 奇妙な姿勢、動き	0	1	2	3	4
奇妙な型にはまった動き、不快で不適切な姿勢があるか。	なし	時々ある (月1～2回)	しばしばある (週1回)	頻繁にある (週1回以上)	きわめて頻繁にある (毎日)

13 ひんしゆく・マナー	0	1	2	3	4
食事中にひんしゆくをかうような癖や習慣はないか。(例：陰部を掻く、大きな放屁を平気でする、鼻をほじるなど)	礼儀正しい	おおむね礼儀正しい	時々ひんしゆくをかう行為がある	しばしばひんしゆくをかう行為がある	ほとんどがひんしゆくをかう振る舞いである
14 破滅的行動	0	1	2	3	
財産、所有物などを破滅するに至った行動があるか。	なし	時々物を壊すといっぺるが、破滅行動はない	しばしば物を壊すといっぺる	1か月以内に怒りにまかせて物を壊したことがある	
15 抑うつ	0	1	2	3	
「生まれてこなかったほうがよかった」とか、「人生なんて意味がない」とつぶやいたことがあるか。(自殺企図は評価しない)	なし	時々ある(月1、2回程度で)	週1回程度で長期の抑うつがある	頻繁にある(毎日)	
16 性的逸脱行動	0	1	2	3	4
公衆ではなく、特定の他者に向けられる性的行動はないか。	なし	いくらか性的なことに関心を持っている(月1、2回程度)	しばしば、好ましくない性的接近をするなど、不適切な性的振る舞いがある	しばしば陰部を露出するなど、明らかに不適切な性的振る舞いがある	頻繁に、度を越した振る舞いがあり、家庭生活や社会生活に支障がある
17 身だしなみ・清潔度	0	1	2	3	4
清潔、髪の手入れ、更衣ができていないか。失禁や奇妙な服装をしていないか。	注意を要しない	時々注意を要する	不適切で奇妙な格好のため、しばしば身なりに注意を要する	清潔に無頓着であり、かなり注意や助言が必要	著しく清潔に無頓着。注意しなければ汚臭や失禁の恐れがある
18 動きの鈍さ	0	1	2	3	4
座るのが異常に遅い、歩くのが異常に遅いなどないか。(年齢、身体的な状態は考慮する)	なし	時々中程度にあるが、普段はない	中程度に動作が鈍い	常に中程度に動きが鈍く、時には極めて遅くなる	極めて動きが鈍い
19 異常な活動性の低さ	0	1	2	3	4
刺激を加えなければ座ったまま何もしない状態(中程度に非活動的な状態)はあるか。(動きの鈍さと活動性の低さは別に評価する)	なし	時々あるが、普段はない	ある	しょっちゅうあり、極めて活動性が低い時もある	極めて活動性が低い
20 集中力	0	1	2		
テレビ、読書などに、自分から集中できるか。	問題なし	集中できない時がある	一度に数分だけ集中できる		
21 社会的適応を妨げる行動	0	1	2	3	4
1～20以外の行動で、社会的適応を妨げる行動があるか(例：喫煙、過食・拒食、盗癖、強迫行為、睡眠障害、飲酒)	そのような行動異常はみられない	過去1か月以上前にあった	過去1か月以内に数回あった	頻繁にある	かなり頻繁にある

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、平成21年2月27日(金)までに、事業所票と合わせてご返送くださいますようお願い申し上げます。

精神障害者の訪問看護におけるマンパワー等に関する調査（病院 施設票）

都道府県名 <input style="width: 90%;" type="text"/>	病 院 名 <input style="width: 90%;" type="text"/>
--	--

■平成21年2月1日時点の貴院の概況をご回答ください。

1 開設主体	01 国 02 都道府県・市町村	03 公的・社会保険関係団体 04 医療法人	05 個人 06 その他	
2 病床数 精神科病床のうち、 各病棟の病床数	総病床数	床	(うち)精神科病床数	床
	① 精神科救急入院病棟	床	④ 老人性認知症疾患治療病棟	床
	② 精神科急性期治療病棟	床	⑤ 老人性認知症疾患療養病棟	床
	③ 精神科療養病棟	床		
3 看護実質配置	精神科棟	結核病棟	一般病棟	療養病棟
				医療保険適用
				介護保険適用
① 看護配置	: 1	: 1	: 1	: 1
② 看護補助配置	: 1	: 1	: 1	: 1
4 平均在院日数(H21.1月)	① 一般病棟	. 日	② 精神科病棟	. 日
5 精神科の患者数	① 精神科入院患者数(実人数)	人	② 精神科外来患者数(実人数)	人
6 精神科訪問看護を行っている職員数	訪問看護の専任職員 (実人数)		他部署(外来、病棟、デイケア、その他)との兼任職員 実人数	常勤換算数
	① 看護職員	人	人	人
	(うち)精神保健福祉士 資格保有者	人	人	人
	② OT・PT・ST	人	人	人
	③ 精神保健福祉士	人	人	人
④ その他の職員	人	人	人	

■平成20年8月1日から平成21年1月31日までの6カ月間における、精神科訪問看護（精神疾患（認知症を除く）が主傷病の利用者への訪問看護）について、以下に回答してください。

	精神科訪問看護・指導料		左記以外
	I	II	
1 精神科訪問看護を実施した利用者数	人	人	人
(うち)複数名訪問した利用者数	人	人	人
(うち)退院前訪問指導の実施した利用者の有無	有・無	有・無	有・無
2 精神科訪問看護の延べ訪問回数	回	回 ^{*2}	回
(うち)複数名訪問 ^{*1} した延べ訪問回数	回	回 ^{*2}	回
3 主傷病名別人数	① 統合失調症	人	人
	(うち)複数名訪問した利用者	人	人
	② 気分障害(うつ病、躁うつ病)	人	人
	(うち)複数名訪問した利用者	人	人
	③ 発達障害	人	人
	(うち)複数名訪問した利用者	人	人
	④ 神経症性障害(適応障害、パニック、強迫性障害)、および「リカリア」障害(境界例等)	人	人
(うち)複数名訪問した利用者	人	人	
⑤ 依存症	人	人	
(うち)複数名訪問した利用者	人	人	
⑥ その他(てんかん等)	人	人	
(うち)複数名訪問した利用者	人	人	
4 過去1年間以内に入院経験のある利用者数	人	人	人
(うち)複数名訪問した利用者数	人	人	人

※1. 貴院の職員が複数名で同時に訪問した場合を指します。

※2. 精神障害者社会復帰施設等に訪問した日に、例えば同時に5人の利用者へ訪問看護を行った場合は、「5回」と数えてください。

■精神科訪問看護を実施した利用者数、そのうち新規に開始した利用者数、精神科訪問看護の延べ訪問回数、そのうち複数名で同時に訪問した延べ回数について、平成20年8月から平成21年1月までの各月で回答してください。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1 精神科訪問看護を実施した利用者数	人	人	人	人	人	人
(うち)新規に開始した利用者数	人	人	人	人	人	人
2 精神科訪問看護の延べ訪問回数	回	回	回	回	回	回
(うち)複数名訪問した延べ訪問回数	回	回	回	回	回	回

精神障害者の訪問看護におけるマンパワー等に関する調査（病院 個票）

■平成21年1月26日（月）～2月8日（日）までに、貴院から同時に複数名で訪問した、精神疾患（認知症を除く）が主傷病のケースについて回答してください。

◎1～14については、**最近の訪問時の状況**をご回答ください。

1 性別	01 男性	02 女性	
2 年齢	満（ ）歳		
3 診断名 (該当するもの全てに○)	01 統合失調症	03 発達障害	05 依存症
	02 気分障害	04 神経症性障害、人格障害	06 その他（ ）
4 主たる診断名 (該当するもの1つに○)	01 統合失調症	03 発達障害	05 依存症
	02 気分障害	04 神経症性障害、人格障害	06 その他（ ）
5 合併症 (該当するもの全てに○)	01 糖尿病 ⇒服薬又はインスリン注射の有無（ 11 あり 12 なし）		
	02 肥満 ⇒体重 _____kg 身長 _____cm		
	03 その他（ ）		
6 主たる精神疾患の発症年齢	満（ ）歳		
7 訪問看護開始時の年齢	満（ ）歳		
8 過去の精神科入院経験	01 あり ⇒ _____回	02 なし	
9 過去1年の精神科入院経験	01 あり ⇒ _____回	02 なし	
10 保険の種類	01 医療保険	02 介護保険	03 その他（ ）
11 自立支援医療の利用の有無	01 あり ⇒ 障害程度区分（1・2・3・4・5・6）		
	02 なし		
12 婚姻状況	01 婚姻	02 未婚	03 離別・死別
13 居住形態	01 独居	02 同居者あり（同居者の内訳： _____）	
	03 グループホーム	04 その他（ ）	
14 現在の就労の有無	01 あり ⇒ 職種（ _____）		02 なし

◎15～21（18を除く）については、**平成21年1月1カ月の状況**をご回答ください。

15 訪問先	01 自宅	03 作業所		
	02 グループホーム	04 その他（ ）		
16 移動時間	① 移動時間	片道 _____分		
	② 移動手段	01 車	03 公共交通機関（電車、バスなど）	
		02 自転車	04 その他（ ）	
17 1回の訪問滞在時間	1月中の訪問1回当たりの平均 _____分			
18 訪問回数 1カ月の総訪問回数	平成20年11月	平成20年12月	平成21年1月	
	（うち）複数名訪問の回数	回	回	回
	（うち）Ns+Ns	回	回	回
	（うち）Ns+精神保健福祉士	回	回	回
	（うち）Ns+OT又はPT	回	回	回
	（うち）Ns+その他	回	回	回
19 複数名訪問の際の役割分担	① Ns+Ns	Ns1の役割（ _____）		
		Ns2の役割（ _____）		
	② Ns+精神保健福祉士	Nsの役割（ _____）		
		精神保健福祉士の役割（ _____）		
	③ Ns+OT又はPT	Nsの役割（ _____）		
	OT又はPTの役割（ _____）			
④ Ns+その他	Nsの役割（ _____）			
	その他の職種（ _____）			
	その他の役割（ _____）			
20 訪問看護への電話相談 (病棟への電話相談は含めない)	01 本人から ⇒ 計 _____回/月 計 _____分/月			
	02 家族から ⇒ 計 _____回/月 計 _____分/月			
	03 その他（ _____） ⇒ 計 _____回/月 計 _____分/月			
	04 なし			
21 貴院の訪問看護以外に 利用しているサービス (該当するもの全てに○をつけて、 週当たりの利用頻度をご記入ください。)	01 テイクア、デイナイトケア、ナイトケア	_____回/週		
	02 グループホームなど共同住居での援助	_____回/週		
	03 作業所など日中の活動の場	_____回/週		
	04 地域生活支援センターなど集う場所	_____回/週		
	05 就労支援	_____回/週		
	06 ホームヘルプサービス	_____回/週		
	07 貴院以外からの訪問看護	_____回/週		
	08 その他（ _____）	_____回/週		

■ 最近の複数名訪問時に、複数名による訪問が必要であった理由について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 01 暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため
- 02 病状が重篤、又は不安定で、多くのケアが必要だったため
- 03 家族の精神的負担を軽減するためのサポートが必要だったため
- 04 複数の看護師によるアセスメントが必要だったため
- 05 OT又はPTによるリハビリ、アセスメント、プログラムの見直しが必要だったため
- 06 精神保健福祉士による相談、ソーシャルワークが必要だったため
- 07 日常生活援助で多くのマンパワーが必要であったため
- 08 利用者と家族に対して、別々のスタッフが担当し援助する必要があったため
- 09 新しいスタッフとの顔つなぎのため
- 10 その他 ()

◎複数名訪問した理由や患者の状況について、具体的にご記入ください。

◎複数名訪問した患者や家族への複数名訪問の効果について、具体的にご記入ください。

▶ 「01 スタッフの安全確保（暴力等からの）」を選ばれた場合に、以下についてご回答ください。
・対象利用者の、最近の訪問時の行動の状況のそれぞれについて、該当するもの1つに○をおつけください。

1 身体的な暴力の可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
2 言葉による暴力の可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
3 セクハラハラスメントの可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
4 拒否や拒絶の可能性	01 非常に高い	02 やや高い	03 どちらでもない	04 やや低い	05 非常に低い
5 その他の問題行動	01 あり ⇒具体的に () 02 なし				

■機能の全体的評価尺度 (Global Assessment of Functioning)

- ・最近の訪問時の対象利用者の状態を、症状の重症度と機能レベルの2つの側面から評価してください。
- ・下記の採点基準を91～100点から順に読み進めていき、症状の重症度、又は機能レベルのどちらか悪い方が当てはまる得点範囲(例：31-40点)を決めてください。その際、精神的に健康から病気までを一つのつながったものと仮定して、心理的、社会的、職業的機能を考慮してください。身体的(または環境的)制約による機能の障害は含めないでください。
- ・次に、その10点の得点範囲内での点数を決めてください。例えば、45、68、72のように、得点範囲内で適当と思う点数をひとつ決め、一番下の回答欄に記入してください。

点数	機能の全体的評価尺度
91～100点	広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。
81～ 90点	症状が全くないか、ほんの少しだけ(例：試験前の軽い不安)、すべての面でよい機能で、広範囲の活動にも興味を持ち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない(例：たまに、家族と口論する)。
71～ 80点	症状があったとしても、心理的社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である(例：家族と口論した後の集中困難)、社会的、職業的または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない(例：学校で一時遅れをとる)。
61～ 70点	いくつかの軽い症状がある(例：抑うつ気分と軽い不眠)、または社会的、職業的もしくは学校の機能に、いくらかの困難がある(例：時にする休みをしたり、家の金を盗んだりする)が、全般的には機能がかかなり良好であって、有意義な対人関係もかなりある。
51～ 60点	中等度の症状(例：感情が平板的で、会話がまわりくどい、時に、恐怖発作がある)、または社会的、職業的、または学校の機能における中等度の障害(例：友達が少ない、仲間や仕事の同僚との葛藤)。
41～ 50点	重大な症状(例：自殺の考え、強迫的儀式がひどい、しょっちゅう万引きする)、または社会的、職業的または学校の機能において何か重大な障害(友達がいない、仕事が続かない)。
31～ 40点	現実検討か意思伝達にいくらかの欠陥(例：会話は時々、非論理的であいまい、または関係性がなくなる)、または仕事や学校、家族関係、判断、思考、または気分など多くの面で粗大な欠陥(例：抑うつ的な男が友人を避け家族を無視し、仕事ができない。子供が年下の子供を殴り、家で反抗的で、学校では勉強ができない)。
21～ 30点	行動は妄想や幻覚に相当影響されている、または意思伝達や判断に粗大な欠陥がある(例：時々、破裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている)、またはほとんどすべての面で機能することができない(例：一日中、床にしている、仕事も家庭も友達もない)。
11～ 20点	自己または他者を傷つける危険がかかなりあるか(例：死をはっきり予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的、躁病性興奮)、または時には最低限の身の清潔維持ができない(例：大便を塗りたくる)、または意思伝達に粗大な欠陥(例：ひどい破裂か無言症)。
1～ 10点	自己または他者をひどく傷つける危険が続いている(例：何度も暴力を振るう)、または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、または死をはっきり予測した重大な自殺行為。
0点	情報不十分。

GAF得点	点
-------	---

■社会行動評価尺度 (Social Behaviour Schedule: SBS)

- ・対象利用者の、最近の訪問時の典型的な行動について評価してください。
- ・評価に際しては、行動の程度(重症度)と、頻度を考慮に入れますが、迷った場合は、程度より頻度に重きをおいて評価し、1~21のそれぞれの項目について、最もあてまはる番号に1つずつ〇をおつけください。

1 コミュニケーション	0	1	2	3	4
スタッフと率先して会話できるか。	自発的にできる	自発的にできるが長く続かない	ほとんどできないが、時に自発的に話す	拒否的	応答しない
2 会話内容の一貫性	0	1	2	3	4
話の内容のつじつまが合うか、精神疾患のために一貫性を失っていないか。	一貫性あり	時々つじつまが合わない(月1~2回)	しばしばつじつまが合わない(週1回)	頻繁につじつまが合わない(週1回以上)	常に一貫性がない
3 会話の奇妙さ	0	1	2	3	4
一般の多くの人が奇妙と思う内容であるか。	奇妙さはない	時々奇妙(月1~2回)	しばしば奇妙(週1回)	とても頻繁に奇妙な話題(毎日)	常に奇妙な話題
4 社会との適切な接触	0	1	2	3	4
バス停で、次にバスはいつ来るのが尋ねられたら、適切に対応できるか。	対応できる	時々不適切(月1~2回)	しばしば不適切(週1回)	ほとんどいつも不適切(週1回以上)	対応できない
5 敵意に満ちた交流	0	1	2	3	4
言語的・身体的敵意があるか。	ほとんどなし	時々軽度の敵意がある(月1~2回以上)	しばしば敵意や脅しがある(週1回)	ほとんどの接触は敵意ある言葉による(週1回以上)	頻繁な敵意のある言葉や動作
6 関心をひく振る舞い	0	1	2	3	4
人の関心を独占しようとするか、他の人に関心を向けると、怒りっぽくなるか。	なし	時々関心をひこうとするが、周囲が他人に関心を向けても気にしない	時々関心をひき、周囲が他人に関心を向けると怒る	常に他人の関心を要求する	常に他人の関心を要求し、周囲が他人に関心を向けると怒る
7 自殺・自傷の企図と行動	0	1	2	3	4
(3以上は明らかに自殺を目的としていたと見られるとき)	なし	間接的にほのめかす(過去1カ月)	直接的に語る(過去1カ月)	何らかの自殺企図や自殺行為をほのめかす行動(過去1カ月)	重大な自殺企図または自殺行為(過去1カ月)
8 パニック、恐怖症	0	1	2	3	4
ある特定の状況下における不安や一般的な不安に、どの程度悩まされているか。	なし	時々軽度の不安がある	不安や緊張があるが、何とか生活ができる	ほとんどいつも不安があるか不安発作が頻発する	常に極度の緊張・不安がある
9 過活動性	0	1	2	3	4
目的もなく歩き回る、不必要な動きが多いなどの行動があるか。	なし	時々ある(月1~2回)	しばしばある(週1回)	頻繁にある(毎日)	長時間、定期的にある
10 独語、空笑	0	1	2	3	4
決して社交上のものではない行動が見られるか。	なし	時々ある(月1~2回)	しばしばある(月3回)	頻繁にある(週1回以上)	きわめて頻繁にある(毎日)
11 妄想の行動化	0	1	2	/	
妄想に基づいて行動を起こそうと決意するか否か。(例:数百万円持っていると思い使い込む)	なし	月1回あった	月2回以上あった		
12 奇妙な姿勢、動き	0	1	2	3	4
奇妙な型にはまった動き、不快で不適切な姿勢があるか。	なし	時々ある(月1~2回)	しばしばある(週1回)	頻繁にある(週1回以上)	きわめて頻繁にある(毎日)

13 ひんしゆく・マナー	0	1	2	3	4
食事中にひんしゆくをかうような癖や習慣はないか。(例：陰部を掻く、大きな放屁を平気でする、鼻をほじるなど)	礼儀正しい	おおむね礼儀正しい	時々ひんしゆくをかう行為がある	しばしばひんしゆくをかう行為がある	ほとんどがひんしゆくをかう振る舞いである
14 破滅的行動	0	1	2	3	
財産、所有物などを破滅するに至った行動があるか。	なし	時々物を壊すといっぺすが、破滅行動はない	しばしば物を壊すといっぺすが	1か月以内に怒りにまかせて物を壊したことがある	
15 抑うつ	0	1	2	3	
「生まれてこなかったほうがよかった」とか、「人生なんて意味がない」とつぶやいたことがあるか。(自殺企図は評価しない)	なし	時々ある(月1、2回短期で)	週1回程度で長期の抑うつがある	頻繁にある(毎日)	
16 性的逸脱行動	0	1	2	3	4
公衆ではなく、特定の他者に向けられる性的行動はないか。	なし	いくらか性的なこと心奪われている(月1、2回程度)	しばしば、好ましくない性的接近をするなど、不適切な性的振る舞いがある	しばしば陰部を露出するなど、明らかに不適切な性的振る舞いがある	頻繁に、度を越した振る舞いがあり、家庭生活や社会生活に支障がある
17 身だしなみ・清潔度	0	1	2	3	4
清潔、髪の手入れ、更衣ができていないか。失禁や奇妙な服装をしていないか。	注意を要しない	時々注意を要する	不適切で奇妙な格好のため、しばしば身なりに注意を要する	清潔に無頓着であり、かなり注意や助言が必要	著しく清潔に無頓着。注意しなければ汚臭や失禁の恐れがある
18 動きの鈍さ	0	1	2	3	4
座るのが異常に遅い、歩くのが異常に遅いなどないか。(年齢、身体的な状態は考慮する)	なし	時々中程度にあるが、普段はない	中程度に動作が鈍い	常に中程度に動きが鈍く、時には極めて遅くなる	極めて動きが鈍い
19 異常な活動性の低さ	0	1	2	3	4
刺激を加えなければ座ったまま何もしない状態(中程度に非活動的な状態)はあるか。(動きの鈍さと活動性の低さは別に評価する)	なし	時々あるが、普段はなし	ある	しょっちゅうあり、極めて活動性が低い時もある	極めて活動性が低い
20 集中力	0	1	2		
テレビ、読書などに、自分から集中できるか。	問題なし	集中できない時がある	一度に数分だけ集中できる		
21 社会的適応を妨げる行動	0	1	2	3	4
1～20以外の行動で、社会的適応を妨げる行動があるか(例：喫煙、過食・拒食、盗癖、強迫行為、睡眠障害、飲酒)	そのような行動異常はみられない	過去1カ月以上前にあった	過去1カ月以内に数回あった	頻繁にある	かなり頻繁にある

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、平成21年2月27日(金)までに、施設票と合わせてご返送くださいますようお願い申し上げます。